



32

「急」

来年のおせちの予約をすすめる広告を、やたらと目にするようになった。

ようやく秋めいてきたばかりだというのに、季節感とのギャップが大きい。ところが、聞けば人気のおせちは9月のうちに完売してしまうのだとか。なるほど、と感心しながら、ふと「せっかちなおせち」という言葉が浮かんだ。声に出してみると、リズムの良さに口がちよつとだけ楽しくなる。

不思議なことに、クリスマスケーキの広告はまだあまり見かけない。行事の順番でいえばケーキが先のはずなのに、正月のごちそうが先に顔を出すあたりに「日本らしさ」を感じてしまう。

とはいえ、こうした先取りの空気には、少しそわそわさせられる。真夏のさなか、100円シヨップの棚を埋め尽くすオレンジ色のハロウィーングッズ。お正月が終わったと思ったら、あつというまに恵方巻きのポスター。切り替えの速さに目がまわるようで、「もう少し今を味わいたい」と思う気持ちになる。

ただ、きっと真に受けすぎないのが正解なのだろう。広告を目にしたら、軽く「お客さん」になってみるくらいでちょうどいい。「わあ、このおせちには伊勢海老が入ってるんだ」とか、「クリスマスケーキは、ホールよりもアラ

カルトで少しずつ食べられるタイプがいいな」とか。そんなふう想像するのは案外楽しいし、歩いているうちにすぐ忘れてしまう程度のことだ。

やがて気づけば、クリスマスケーキの写真が街に並び、銀杏の独特な匂いとともにイルミネーションに火が灯る。年末が近づくと、時間が加速したように感じられる。平時でも同じ速さで時は流れているのに。

さて、まだまだやり残したことの多い2025年9月。

「寝る間を惜しんで頑張れ」なんて、人には言わないけれど、せっかちな季節に置いていかれないように、もう少し歩みを速めてみよう。